



通信

HP 学校だより
R7. 7. 9
NO. 14
文責 伊藤美佳



トヨサカナスが給食に

7月7日（月）朝、3年生と6年生は黒光りしたトヨサカナスを収穫しました。この収穫したナスが、次の日の給食の食材（メニューは「さっぱりなすじゃこ」）となり、町内の小中学校で食べられました。

この日のために、一週間前から収穫せずに大きく実らせたナスを収穫しました。今年のナスは、傷がなく黒光りしているナスが多く、とてもおいしそうでした。ナスを収穫した後、へたのぎりぎりのところで切りそろえ（他のナスを傷つけないため）、搬入用のかごに詰めていきました。重さを計測すると、6年生は51.5kg、3年生は18.3kgで、合計69.8kgのナスを給食センターに届けることができました。

3年生は、給食センターから15kgのナスを依頼されていたので、約束を守ることができ、喜んでいました。収穫後に全員で給食センターの方へ向けてのメッセージ動画を撮りました。搬入した時に、給食センターの方がそれを見てくださったことで、ミッションが完了しました。3年生は、算数科「重さ」の学習と総合的な学習を合体させたことで、どちらも楽しんで学習することができました。

6年生は、ナス畑の草取りをこまめにしたり、毎日の水やりを忘れずにしたりして、「愛情をもって」や「一生懸命に」という言葉で自分たちのナスを紹介できるように育てようと努力し始めました。その行動は、ナスおじさんから「今年は、草をこまめにとってくれていていいなあ」と認めていただきました。**「愛情をもって」や「一生懸命に」は目に見える形で現れ、ちゃんと人に伝わるものである**と子どもたちにも実感できていたらうれしいです。

町内でトヨサカナスをおいしく食べてくれたことを願いながら、9月にもたくさん収穫できるように、「次 どうする」と3年生や6年生が考えて動き出してくれることを期待します。



野外活動で感心した一コマ

先週（3、4日）に5年生が野外活動に行ってきました。その中で、一番感心した一コマは、野外教育センターの方から言われた「野外炊飯での残飯が少ないね」です。自分たちで苦労して作ったご飯とカレーを残さずにしっかりと食べ切ったことは、本当に感心しましたし誇りに思いました。次の日にアユつかみをして串を刺す経験もしています。命をいただいているのだから「おいしくいただき、自分の体の一部として生き続けさせる」そんな気持ちで食に向かってくれるとうれしいです。